企画展

池田家の明治維新

Meiji Restoration of the Ikeda family

平成24年12月9日(日)―平成25年1月27日(日)

◉開館時間　9時～17時(入館受付は16時30分まで)　月曜日休館(祝日の場合は翌日)　年末年始休館(12月28日(金)～1月3日(木))
◉入 館 料　一般500円 高校生300円 小・中学生無料 友の会会員 無料　障害者手帳提示の方・付添者 無料　団体(20名様以上)、シルバーカード提示の方 2割引
◉主催　財団法人 林原美術館　◉後援　岡山県郷土文化財団、山陽新聞社、NHK岡山放送局、RSK山陽放送
◉ギャラリートーク　会期中の毎週土曜日14時から学芸員によるギャラリートークを行います。(ただし平成25年1月12日はスペシャルギャラリートークを行います。)

林原美術館
〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15
TEL (086) 223-1733 FAX (086) 226-3089
http://www.hayashibara-museumofart.jp

徳川慶喜書状　池田茂政・同余四麻呂宛

企画展

池田家の明治維新

Meiji Restoration of the Ikeda family

江戸時代初期の名君として名高い池田光政が、寛永9年(1632)に岡山藩主となって以来、池田家は約235年の長きにわたって藩主として藩政を担いました。そして迎えた幕末の動乱期、各藩は幕府方につくか、あるいは新政府につくかをめぐって、難しい舵取りを迫られます。この難局にあたり、岡山藩では第8代藩主池田慶政(1823～1893)、9代茂政(1839～1899)、そして10代章政(1836～1903)の三人が、それぞれの立場で難しい判断を迫られながらも新政府方につくことになり、無事に明治維新を迎えることになります。

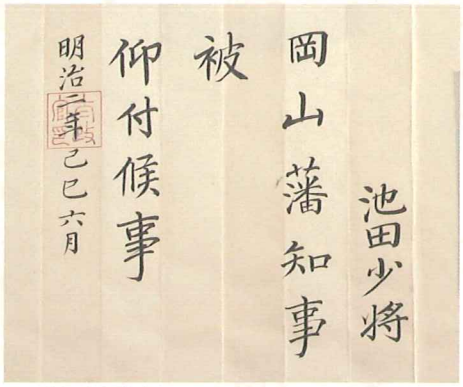
本展では、初公開となる文久3年(1863)5月15日に一橋(徳川)慶喜が池田茂政・同余四麻呂に宛てた書状や、慶応4年(1868)に岡山藩が新政府から与えられた錦御旗(にしきのみはた)などから、岡山藩の活躍を振り返るとともに、三人の藩主にまつわる書画・工芸品や所用の品々を展示し、幕末から明治維新以後の藩主の実像に迫ります。

また現在、当館と岡山大学附属図書館池田家文庫に別れて収蔵されている池田家の文化財は、明治維新以降、池田家で所蔵する文化財を大きく什器(調度品)と記録(藩政資料)とに分類し、管理したことにその起源があります。池田家が行ってきたこれらの活動を確認しながら、文化財を守り伝えることの意義を改めて考えてみたいと思います。

池田萬寿子画像(部分)

木杯　池田章政・鑑子金婚式記念

銅花生　明治天皇より池田茂政拝領



岡山藩知事任命書

陣羽織　池田茂政所用

林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823　岡山市北区丸の内2-7-15　TEL(086)223-1733　FAX(086)226-3089
http://www.hayashibara-museumofart.jp
＊車椅子対応の設備あります。

交通／JR岡山駅から徒歩25分／路面電車[東山行]県庁通下車徒歩7分
岡電バス[岡電高屋行]県庁前下車徒歩3分
宇野バス[瀬戸駅前行・四御神行]県庁前下車徒歩3分

次回予告　企画展「姫ぎみたちのひな道具」
平成25年2月8日(金)～3月21日(木)

岡山藩主池田家に伝わった姫君たちの雛道具を紹介します。雛道具は婚礼調度を小さく写したもので、精巧・可憐なだけではなく、姫君たちの御殿の生活を映し出します。本展では雛道具とともに、大名の婚礼調度も併せてお楽しみいただきます。